

長沼町「タンチョウも住めるまちづくり」って、なんだ!?

人



も

タンチョウ



も

他の生きもの



も

住めるまちのこと



それって、どんなまち?

タンチョウが選んでくれる住みよい環境があるまち
タンチョウを迎えるやさしい人がいるまち



舞鶴遊水地に来たタンチョウ (嶋田 浩江氏 提供)



なんで、そんなことをするの?

ツルが沢山いた長沼町

昔の長沼町では、タンチョウが暮らしていました。
今でも「舞鶴」「繁殖橋」といった名前が残っています。

タンチョウが毎年やって来る

道東に生息地が集中しているタンチョウ。
絶滅のリスクを低くするため、分散が求められています。
そんな中、長沼町には平成28年から毎年タンチョウがやって来ています。

タンチョウをきっかけに、もっと元気なまちへ

タンチョウも住めるまちづくりは、人にも生きものにもいい環境を作ったり、地域の自然を考えたり、
取組を通じて長沼町をもっと多くの人に知ってもらおうきっかけになります。



旧長沼舞鶴小学校は、昔、校章がタンチョウだった。



どんなことをするの?

- 「タンチョウも住めるまちづくり」の取組の普及啓発
- 環境教育イベントの開催
- タンチョウをシンボルとした農業・観光の活性化
- タンチョウの営巣に向けた舞鶴遊水地の環境作り など

タンチョウって、どんな鳥？

住んでいる場所

日本(国内の繁殖地は北海道のみ)
ロシア、中国の湿原などに生息。

大きさ

体重6~11kg。
背の高さは約150cmと
日本で一番大きな鳥。

食べ物

植物、魚、昆虫など…
なんでも食べる雑食性。

絶滅しかけた歴史

開拓や乱獲の影響で激減し、
一時は絶滅したとされていた。
その後の保護活動で
約1,800羽まで増加。



タンチョウを優しく見守ろう

- ・タンチョウが近くにいたら、建物や自動車から出ずに観察してください。
- ・タンチョウが首をぴんと伸ばしていたら、警戒しているので、それ以上近寄らないようにしましょう。
- ・驚かせたり、エサを与えたりしないでください。
- ・周辺の農地・私有地、農道、立ち入り制限区域には入らないでください。



警戒しているタンチョウ



警戒していないタンチョウ

舞鶴遊水地って、 どんなところ？

昔から水害の多かった
長沼町に、治水対策として
舞鶴遊水地が作られました。
大雨が降ったときに水を貯めて、
洪水になるのを防ぎます。



排水門



平常時



洪水時



舞鶴遊水地への行き方



道道226号線を進み、
繁殖橋北側たもとの砂
利道に入る。

舞鶴遊水地



発行：令和2年9月
お問合せ先：長沼町 政策推進課
(0123-76-8015)